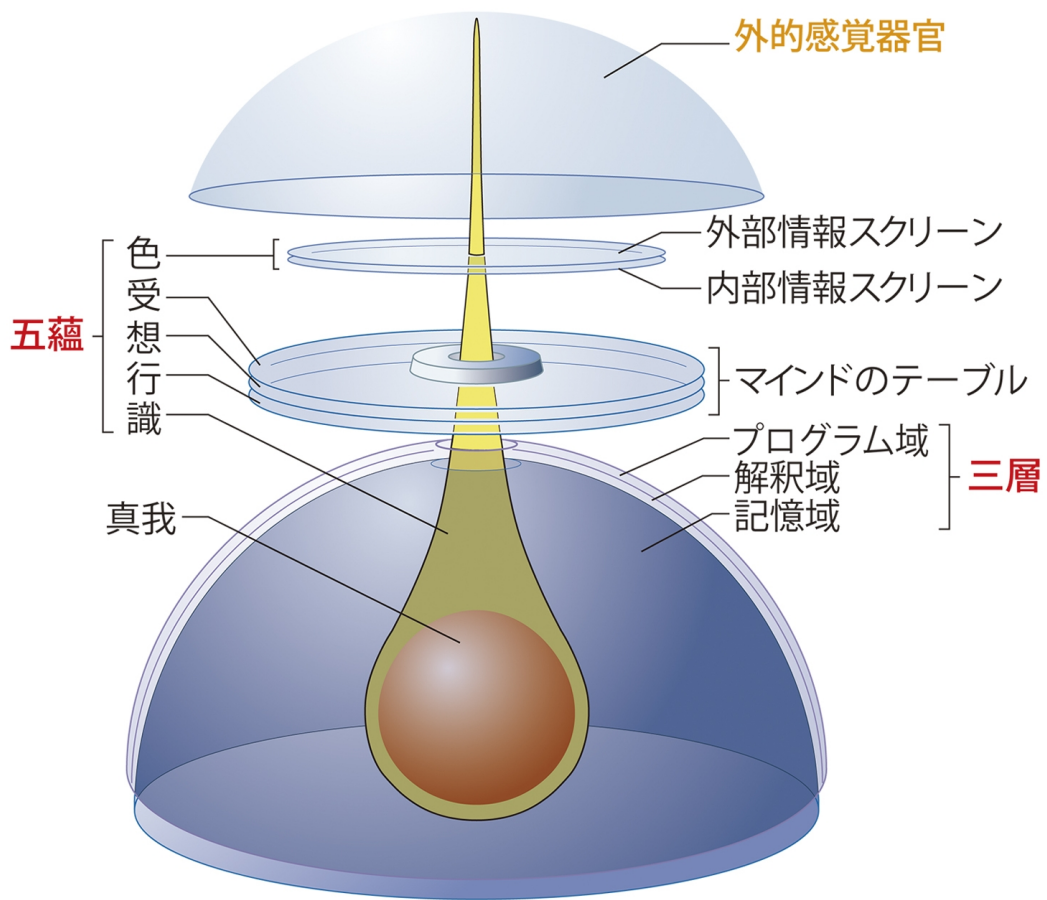


心のシステム図



©Arina Hosai

五蘊と三層の機能

外的感覚器官(肉体)：

視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚などで外部刺激をキャッチする

色：情報感知機能域

外部スクリーン：

各器官が取得した外部からの情報がそのまま映し出される
(例：細長いホースが目に入る)

内部スクリーン：

外部からの刺激が自分の解釈で補正され映し出される
(例：実際はホースなのに、蛇のように見える)

受：受信認知機能域

想：思考検討機能域

行：判断決定機能域

識：伝達保管機能域

マインドのテーブル：

頭の作業スペース。外部から入ってきた情報はいったんここに置かれ、認識・検討・判断される。「識」にはタスク管理域がある。

五蘊

執：プログラム域

過去の経験と解釈により学習した内容が、
行動指針として蓄積されるエリア

釈：解釈域

過去の記憶から自分なりに解釈したことが蓄積されているエリア

憶：記憶域

過去の記憶がすべてストックされているエリア

三層

五蘊三層の神経電流[※]の流れ

